

平成24年度用 高等学校工芸Ⅱ（116・日文・工Ⅱ・001）

1. 学習指導要領との関連

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
学習指導要領全般	・学習指導要領に示された「工芸Ⅱ」の目標「工芸の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし工芸を愛好する心情を育てる」を踏まえ、適切に題材を選択、配列した。	・教科書全般
表現及び鑑賞の活動の取り扱い	・学習指導要領「工芸Ⅱ」の目標にある「感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな工芸の能力を高める」ため、題材の設定に当たっては「工芸Ⅰ」の学習を踏まえ、高校生の表現能力や鑑賞能力の発達に応じた取り扱いができるよう配慮した。	・教科書全般
「感性」や「芸術の諸能力」、「豊かな情操」について	・工芸の基礎に関するもの、機能・用途に関するもの、材料・技法に関するもの、制作に関するものが、それぞれに関連し合っ て学習の効果が上がるよう、系統的な題材の配列に努めた。	・教科書全般

2. 内容の適切度

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
編集意図の新鮮さ・明確さ	・時代の美意識や科学・技術の発展、家庭生活や社会生活の複雑化、多様化などに伴う工芸の広がりについて理解し、快適で心豊かな生活の実現を指向する工芸教科書となるよう工夫をこらした。	・教科書全般
内容の程度、正確性への配慮	・文章は平易で、日常あまり使われない工芸の用語については丁寧に解説し、また、日本人作家の人名や読みにくい作品名に振り仮名を付けるなど、十分に学習に役立つように配慮した。 ・掲載作品は、工芸の教科書として必要な情報が正しく伝わるように、原作の色みに忠実な印刷を目指した。 ・作品と作家のデータは、正確さとわかりやすさに細心の注意を払った。	・教科書全般
時代への適応性及び環境への視点	・今日の急速な文明化のもたらした、人間・自然・社会の秩序崩壊と環境問題について、工芸の立場から考えてみる契機となるよう配慮した。 ・前見返しに「環境と工芸」を設け、環境問題について生徒が関心を持つように配慮した。	・教科書全般 ・2~3
人権尊重及び平和教育への視点	・掲載作家の表現や鑑賞を通して、平和や生命の大切さ、自然環境の保護への興味・関心が深まるように配慮した。	・教科書全般
我が国及びアジアの美術・文化についての視点	・「暮らしと伝統的工芸 アジア」「暮らしと伝統的工芸 日本」を設け、生活と工芸のかかわりについて考えるよう工夫し、我が国及びアジアの工芸を積極的に紹介した。	・46~49, 52~55

### 3. 学習効果への配慮

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
基礎・基本の押さえ	・「工芸Ⅰ」の学習を踏まえて「工芸Ⅱ」で必要な基礎的、基本的能力がさらに深まるよう題材を設定した。	・教科書全般
興味・関心への配慮	・「遊」「食」「住」「装」「憩」「伝」のキーワードを設けることによって、自分たちの生活と工芸とのかかわりの深さを理解し、工芸の大切さがわかるよう配慮した。	・6~29
創造的な表現の能力を高めるための配慮	・木、土、石、金属、樹脂などを取り上げ、材料への理解を深めるとともに、制作過程を掲載するなどして、創造的な造形活動ができるよう配慮した。	・30~37
鑑賞の能力を高めるための配慮	・数多く良質な作品に接することを重視し、鑑賞眼を育て、豊かな人間性を育てることができるよう配慮した。	・教科書全般
他教科や「工芸Ⅰ」との関連	・題材の設定に当たっては、美術との関連に配慮した。 ・平和、環境、地域との関連などの学習について、工芸の視点から学べるように配慮した。 ・題材の設定に当たっては「工芸Ⅰ」の学習の上に立ち、高校生の造形的な能力の発達に応じた取り扱いができるよう配慮した。	・教科書全般

### 4. 造本・体裁

主要な観点	編集上の特色	該当ページ
印刷	・工芸の教科書にふさわしく、作品のよさが正しく伝わるように、鮮明で、美しい印刷を心がけた。	・教科書全般
製本	・製本は細かい目のミシン綴じで、長期間の使用に耐えうる堅牢な造本にした。	・教科書全般
安全性について	・印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して大豆油インキを使用するとともに表紙の表面加工にも配慮し、学習に使用するに当たって十分に配慮した。	・教科書全般
環境への配慮	・用紙は表紙・本文とも再生紙を使用するなど、十分に環境への配慮をした。	・教科書全般